

この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

論理国語	単位数	4単位	学科・学年・学級	
------	-----	-----	----------	--

## 1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## 2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「精選論理国語」(論国 002-902)
副教材など	「精選論理国語 学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「ジャンプアップ高校漢字問題集 改訂版」 / 「常用漢字の標準演習 改訂版」 / その他、QR コンテンツ (教科書)、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

## 3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成30年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
  - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う側面。
  - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

## 4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

### 《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称、配当月を示した。

### 《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（書く／読む）、教材名、ページ数、配当時数を示した。

### 《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

#### 記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力、判断力、表現力等」の指導事項

⊕ …… 「思考力、判断力、表現力等」の言語活動例

### 《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

### 《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

#### 記号の説明

\* …… 指導上の留意点や別案

### 《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は、各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて、文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は、各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて、冒頭を「（領域名）において、」として領域を明示し、更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は、扱っている全ての指導事項について設定した。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、次の3つの内容を全て含め、各教材の目標や学習内容等に応じて、その組み合わせを工夫しながら設定している。また、文末は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）

**記号の意味**

- [知技] …… 「知識・技能」の評価規準例
- [思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例
- [主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例

領域・教材名 ページ数・配当時間	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ = 学期				
I 部 2 新たな解釈 (=月)				
読む 科学的「発見」とは P 34 2 時間	[知技] (1)ア、 イ、ウ [思判表] 読む こと(1)イ、カ	・本文中の二つの課題を体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	<b>&lt;第1時&gt;</b> 1 「図1」と「図3」が何に見えるかを考えながら本文を通読する。(手引き1) 2 「事実を観察するということは、それほど単純ではない。」という筆者の考えを理解する。 3 第一段の「事実を観察するということは、それほど単純ではない。」という考えの根拠を、第二段から理解する。(手引き2) 4 第三段から、「信じられないという表情から驚きの表情に変わってくる」理由を理解する。(手引き3) 5 「『見ることは解釈することだ。』」の意味するところを理解する。(手引き4) <b>&lt;第2時&gt;</b> 1 「要約する力」(P168)を参考にしながら、本文の中心的な「問い」と「主張」をまとめる。(論理の力)	<b>[知技]</b> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <b>[思判表]</b> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <b>[主]</b> 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、ものの見方や考え方を培おうとしている。
書く <b>【探究遍】</b> 仮説を立てて検証する P 364	[知技] (1)エ/ (2)ア、ウ/(3) ア [思判表] 書く こと(1)ア、エ、 オ	・仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。	<b>&lt;第1・2時&gt;</b> 1 「探究学習へのアプローチ」を通読して、四つの学習ステップの流れと、各ポイントを確認し、「探究学習」への理解を深める。(探究学習へのアプローチ) 2 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。「探究学習」の四つのステップのうち、「情報の取	<b>[知技]</b> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。

	<p>⑥ 書くこと(2) イ</p>		<p>集」と「整理・分析」を实践して、その手順や方法を理解し、テーマを吟味するという中心課題を捉える。</p> <p><b>&lt;第3～5時&gt;</b></p> <p>1 「課題」の中から一つを選び、問題の前提と、そこにはどのような傾向が見られるかについて、インターネットを使うなどして現象を把握する。</p> <p>2 同じ課題を選んだ人どうしでグループに分かれ、課題の現象に基づく疑問点を出し合い、その原因や結果について仮説を立てる。</p> <p><b>&lt;第6～9時&gt;</b></p> <p>1 仮説を検証するための根拠となる情報を、インターネットなどを利用して集める。</p> <p>2 集めた情報を整理・分析し、立てた仮説の妥当性を検証する。</p> <p>3 集めた情報から、更に新たな疑問や課題が生じた場合、必要に応じて追加で調査を行う。</p> <p><b>&lt;第10～12時&gt;</b></p> <p>1 検証の過程を文章にまとめるため、構成を考え、メモを作る。</p> <p>2 構成メモをもとに、報告文にまとめる。</p> <p><b>&lt;第13・14時&gt;</b></p> <p>1 報告文が書けたら読み直し、仮説の検証過程が的確に伝わる文章であるかを確認し、必要があれば推敲する。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、課題について各項目が達成できているかを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</li> <li>・推論の仕方について理解を深め使っている。</li> <li>・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。</li> </ul> <p><b>[思判表]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</li> <li>・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</li> <li>・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</li> </ul> <p><b>[主]</b> 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。</p>
--	------------------------	--	--	--